

# 私たちは、日本で、 難民認定を求めている スリランカ人です。

私たちの願いは、安全な暮らし、家族との再会、そして平和な祖国

私たちスリランカ難民の声に耳を傾けてください！

自助組織「プラス&プラス」の活動に協力してください！

[http://rafiq.jp/siryou/SriLanka\\_index.html](http://rafiq.jp/siryou/SriLanka_index.html)



内戦に苦しめられるスリランカの人々

スリランカは、美しく自然豊かな国です。しかし、この国では、30年近く内戦が続いています。特に、昨年からの戦況が激化しています。長年の内戦で、この小さな島国には武器が氾濫（はんらん）し、政治家と結びついたギャングたちが暗躍し、殺害や誘拐事件が連日のように起こっています。

重大な人道危機、日本政府も和平交渉に尽力してくださっています。しかし、その一方で、日本に逃れてきたスリランカ人に、日本政府は冷たい。どんなに真剣に訴えても、真実の恐怖と苦しみからの訴えであることを認めようとしてくれません。

私たちの願いは、家族と平和に暮らすことです。私たちは、愛する妻や子どもたち、恋人、両親、兄弟と語らい、いたわりあう時間を取り戻したい。私たちの存在を知ってもらうために、私たちスリランカ難民は、「スリランカ・プラス&プラス」を発足させました。

「プラス&プラス」は、民族の違いや言葉の違い、宗教の違いを超え、同じ祖国の仲間として、この日本で互いに助け合い、励ましあうための組織です。失われたものを取り戻す「プラス」への願い。この「プラス」の輪に、どうぞ日本の皆さんも加わってくださいませんか。

私たちは、毎月第1月曜日、1時から大阪駅に集まり、宣伝活動を行います。私たちはこれを2年間続けたい。ぜひこの活動に参加ください。

私たちを支援してくれている支援グループRAFIQが私たちのWebページを作ってくれています。

近年の難民申請者の出身国

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
ビルマ	38	111	138	212	626	500
トルコ	52	77	131	40	149	76
パキスタン	26					
バングラデシュ			33	29		
イラン		25			27	
スリランカ					27	41

**日本の難民申請者 3位  
スリランカ難民に難民認定を！**

◆スリランカ プラス&プラスのお問い合わせは…

RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク)

FAX : 072-684-0231

MAIL : rafiqtomodati@yahoo.co.jp

まで

1. いっしょに「難民の話を聞く会」を開きませんか。
2. いっしょにピラまきを手伝っていませんか。
3. 私たちのことを知らせる活動を提案ください。
4. 難民支援基金にご協力ください。

## 難民認定とは？

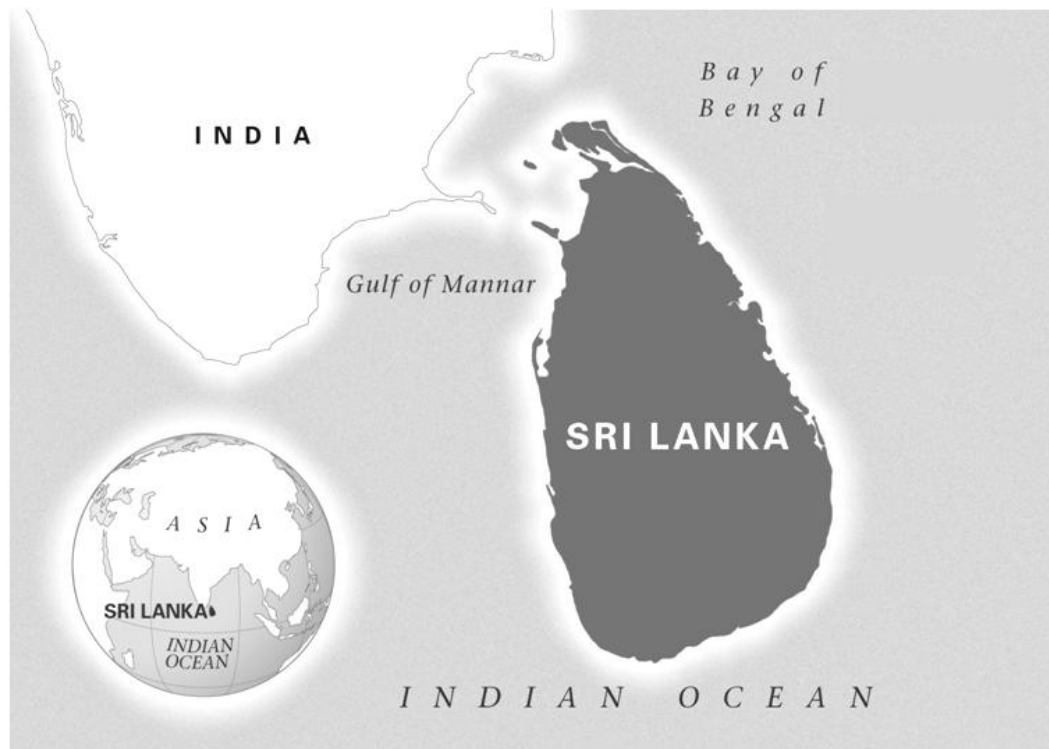
日本は、難民条約により、政治的な理由などから、自国で投獄などの迫害を受けるおそれがある人々（難民）に在留資格を与え保護する義務を負っています。日本では、法務省・入国管理局が、誰がその難民に当たるかを判断する「難民認定」を担当しています。日本の難民認定数は先進国最低レベル。難民鎖国と批判されています。2008年スリランカ人で難民として認定された人は誰もいません（8月末現在）

## スリランカの現状

インドの南東部の沖合に位置するスリランカ。自然と文化遺産で知られるこの国は、30年近く内戦が続いています。特に、昨年からの停戦合意が破たんし、政府軍による反政府組織地域への激しい空爆・攻撃、そしてそれに対抗するためのテロが全土で頻発しています。

これに加えて、スリランカには小火器が氾濫し、それを使った大掛かりなギャング団ネットワークが市民社会を揺るがしています。政治上のライバル、ギャングから特段の恨みを買った人たち…

少数民族に属し反政府武装組織「タミル・イーラム解放のトラ」（LTTE）への関与を疑われた人々、あるいはLTTEへの協力を拒否したため報復の脅威にさらされている人々、さまざまな理由からギャング団による殺害の恐怖に曝されている人々が、今日本での保護を求め難民申請しています。こうした人々は日本には100人以上のスリランカ難民がおり、出身国別ではビルマ、トルコ（クルド人）に次いで3番目に多い集団です。



## スリランカの歴史

- 18世紀末～ イギリスが植民地化を始める。
- 1951年 国連で対日賠償請求を放棄する演説を行い日本の国際社会への復帰に道筋をつける。
- 1987年 反政府組織 LTTE（タミル・イーラム解放のトラ）が独立宣言し、内戦始まる。
- 2002年2月 政府と LTTE との停戦合意成立
- 2004年12月 スマトラ沖大地震及びインド洋津波により、スリランカ北西部を除く全ての沿岸が被災し、3万人以上が犠牲。
- 2005年8月 ガディルガマール外務大臣暗殺事件
- 2008年 LTTE との停戦合意を正式に破棄すると発表。  
インドの介入を受けたり、ノルウェーの調停で一時停戦したりするが、散発的なテロが続き、再び戦いが起こる。途中停戦や少数民族の自治権を認める法制定の動きもあるが結局白紙になる。  
少数民族、タミル人は、LTTEからは参加を強要されたり、政府からLTTEへの関与を疑われ、政府側に誘拐される事件が多発している。